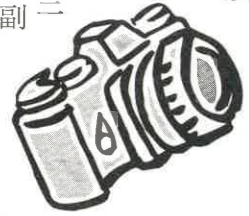


●応募期間(前期)は、平成16年5月1日から5月31日まで。(後期)は、平成16年11月1日から11月30日まで。

●応募先：〒807-1126 北九州市八幡西区木屋瀬三丁目16番126号 長崎街道木屋瀬宿記念館写真コンテスト係

●各賞表彰内容  
前・後期の入選写真各20作品には賞金三千元、及び副賞として木屋瀬宿オリジナル図書カード一〇〇〇円分を差し上げます。見事入選された写真の中から以下の各賞を表彰致します。

●賞金(二作品)：賞金二万円、及び副賞として北九州市観光協会賞(トロフィー、記念品)を。銀賞(二作品)：賞金二万円、及び副賞として北九州市コンベンションビューロー賞(トロフィー、記念品)を。銅賞(三



第一回「木屋瀬の風景写真コンテスト」  
**自慢の写真で賞金をGet's!!**

木屋瀬宿のPRと撮影された写真を木屋瀬の一つの財産として残すため、企画実施をすることになりました。老若男女、プロ、アマ、木屋瀬外に居住など、さまざまな方のご応募をお待ちしております。あなたも自慢の一枚で賞金を狙ってみませんか。



北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会広報部  
北九州市八幡西区木屋瀬三丁目16番26号(〒807-1261)  
TEL 093-619-1149  
FAX 093-617-4949

長崎街道 **木屋瀬宿** ご利用のご案内

**交通アクセス**

- 九州自動車道 八幡I.C.から車で約10分
- 北九州都市高速 馬場山ランプから車で約10分
- JR筑豊本線 筑前植木駅下車徒歩約15分
- 筑豊電鉄 木屋瀬駅下車徒歩約5分

受け継がれてきた文化をあじわい、歴史を体験できる場所。芝居小屋の外観をした多目的ホール「こやのせ座」は知性深まる交流の場。「みちの郷土史料館」では宿場町ならではのさまざまなお宝を展示。出会うのは郷土の豊かな文化。

**こやのせ座**

- 開館時間 9:00~22:00
- 休館日 月曜日(その日が祝日の時は、翌日)、年末年始
- 収容客数 300席 ●和室6室
- 予約 舞台とホール併せて使用の場合…6ヶ月前から。それ以外は1ヶ月前から。

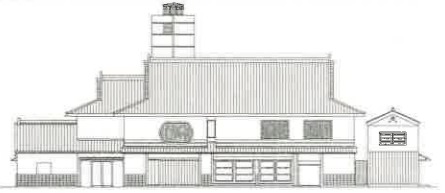


区分	曜日	時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
Aランク (入場料1000円以下の催事)	上段…平日	日	3600			1425		5700			1800		7200				
	下段…(土・日・祝)		(4300)			(1725)		(6900)			(2150)		(8600)				
Bランク (入場料3000円以下の催事)	上段…平日	日	5400			2150		8600			2700		10800				
	下段…(土・日・祝)		(6400)			(2575)		(10300)			(3225)		(12900)				
Cランク (入場料3000円を超える催事)	上段…平日	日	7200			2875		11500			3600		14400				
	下段…(土・日・祝)		(8600)			(3450)		(13800)			(4300)		(17200)				
Dランク (舞台、棧敷席を使用しない催事)	平日・土・日・祝均一		550			212		850			275		1100				
	平日・土・日・祝均一(1室)		300					450					600				
和室(全6室)																	

- その他の使用料(仕込み…Aの5割、リハーサル…Aと同額、継続…Aの5割)
- 時間外使用料…7時~9時及び22時~24時は、18時~22時の料金の5割
- 器具使用料及び冷暖房費は別途。
- 詳しくは事務局(TEL093-619-1149)へお問い合わせ下さい。

**みちの郷土史料館**

- 開館時間 9:00~17:30 (入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(その日が祝日の時は、翌日)、年末年始
- 入館料 一般200円、高校生100円、小・中学生50円  
30名以上の団体：一般160円、高校生80円、小・中学生40円



**ふれあひ宿**

- 使用時間 18:00~22:00 ●休館日 月曜日(その日が祝日の時は、翌日)、年末年始
- 予約…ご使用の前日までに事務局(TEL093-619-1149)へ。

**お知らせ**

須賀神社宝物展 近日開催 みちの郷土史料館では、平成15年10月25日から11月30日まで、企画展「須賀神社宝物展」を開催します。木屋瀬を代表する神社「須賀神社」は、江戸時代まで祇園社と称していましたが、勧請は永享年間(室町時代)に、その後(江戸時代前期)に豪商伊藤宗伯が再建したといわれています。社内の参籠殿には、江戸時代や明治時代に奉納された絵馬が多数保存されています。今回の企画展では、須賀神社からの寄贈・寄託資料を中心に、須賀神社が所蔵する社宝も借用し、普段なかなか目に触れる機会のない宝物を堪能していただきます。皆様のご来館をお待ちしております。

木屋瀬まちなみ案内ボランティア養成講座をはじめとした 江戸時代の宿場町の面影を残す木屋瀬の町には、町並み散策を楽しむ方が訪れます。二〇〇一年の長崎街道木屋瀬宿記念館開館にともない、木屋瀬の町自体の知名度も段々と上がってきた感があります。団体見学の申し込みもあり、みちの郷土史料館の館内だけでなく、町並みの案内をお願いされることもしばしばです。そこで、古い町並みが好きな方、歴史が好きな方、町並み案内ガイドに興味がある方、木屋瀬を愛する方など、幅広く人材を求めたいことになりました。講座は、10月17日から始まり、12月5日までの毎週金曜日14時から、こやのせ座にて開催しております。

遠賀川河川敷花壇ボランティア募集 木屋瀬宿記念館そばの遠賀川河川敷が、駐車場として、また憩いの広場として整備されました。河川敷内には、花壇(二ヶ所)も設置されています。遠賀川河川敷の愛護会、構成団体：木屋瀬自治会、みちの郷土史料保存会、宿場木屋瀬街づくりの会、筑前木屋瀬宿場踊り保存会、木屋瀬商栄会、木屋瀬老人クラブ連合会、木屋瀬商工連盟、木屋瀬青年会では、この花壇「花壇ボランティア」を募集します。●貸出し期間：平成15年11月~平成16年10月まで。●対象：花壇の管理と開花まで継続して手入れできるグループ(個人)で活動を希望の方はご相談下さい。●条件：継続して花を植え、草取りや水やりなどの手入れをしてもらいます。●申し込み：10月19日までに木屋瀬宿記念館内花壇ボランティア募集係(TEL093-619-1149)まで。

作品：賞金一万円、及び副賞としてニコソ賞(トロフィー、記念品)をそれぞれ差し上げます。

■審査結果発表  
前期入選作品の発表は、平成16年6月中旬。後期入選作品の発表は、平成16年12月中旬。

内閣官房長官から表彰を受けた  
**木屋瀬みちの郷土史料保存会**

去る九月五日、市主催の「年長者の祭典」が小倉の九州厚生年金会館で行われ、二百数十人の参加者の前で、「木屋瀬みちの郷土史料保存会」が、内閣官房長官からの表彰を受けました。都道府県指定都市からの推薦のあったものの中から、「社会参加活動」つまりボランティア団体26件が内閣府から選ばれたものです。

内容としては、「江戸時代の長崎街道の宿場町として栄え、今もその街並みが残る木屋瀬の歴史的资料について、蒐集・保存・研究に努めている。また平成13年開館の新史料館において、来館者の案内や観光客への街並み案内を行うなどの活動を行っている」ということでした。

平成16年、それまで一人で頑張っておられた地元の梅本和多流先輩が80歳の高齢を

三賞の発表は17年1月初旬。いずれも「こやのせ座」にて発表します。併せて応募写真の展示も行ないます。期間は、平成16年7月及び平成17年1月。(予定)

※詳しくは、木屋瀬宿記念館までお問い合わせ下さい。

理由に旧資料館を退かれ、時の「街づくりの会々々長」安川常雄氏の召集で「郷土資料保存会」の模索が始まったものです。掃除・展示物の明示・来館者の応対・街並み案内等、地元の皆様が支えられ、励まされて新史料館に横すべりして合計九年間、今では平均70歳代の18名、うち女性5名で「市立みちの郷土史料館」で毎日活動をしています。

地元文化財への誇りをもつて大切に守るといふ、ごく当り前のボランティア活動をしてきたのですから、今回の表彰は少々面はゆい感がありますが、一つの励みとして更に頑張つてゆきたいと思つて居ります。

皆様への感謝を込め、更なるご支援をお願いする次第でございます。

木屋瀬みちの郷土史料保存会  
会長 水上 裕

木の切り株を狙い、木の根を狙い、笹の葉を狙い、寸分の狂いのないように開墾の鎌を打ち下す事だけに熱中しながら、若い頃の宮本武蔵は、荒地の開墾に励んでいた。

「農も又剣なり」と開墾の鎌を刀剣と考へて土を耕すという事の前に、鎌を目標に向かって打ち下す事に神経を集中し荒地の開墾を剣技を錬磨する心で頑張り通し、荒地開墾の鎌の刃先に焼き付いている剣技錬磨の精神から剣豪、宮本武蔵は誕生した。

大きな滝の前に無念無想の姿で直立し、剣の達人を目指して精神統一をつづけていた佐々木小次郎の前で燕が縦横に乱舞した。これを見た小次郎は「剣の修業これにあり」と物干竿と呼ばれる大刀を燕に向かって縦横に振りまくった。けれども燕の早技には到底及ばず、小次郎は疲れてしまった。ところが不思議な事に、



わたしの昔話

燕が日本にさようならする頃となつた或る日、一羽の燕が小次郎の大刀に打ち落された。疲れても疲れても尚、志しを貫ぬき通し、剣豪、佐々木小次郎が誕生した。

ながい歳月、公害に追われ犯されてその姿も見えなくなつていた、木屋瀬大川の魚や町の東の岡森用水溝の螢が甦つてきた。小さいながらも、自分のありつた力のありつたものと考へて甦つたものと考へられる。剣豪と呼ばれる人や名人と呼ばれる人達に劣らぬ努力を重ねて甦つたものと思われ、かつて木屋瀬大川の川底には魚の学校も見えていた。夜の町の大通りには浴衣娘の団扇の風に、螢が遊び舞っていた。

屋根越えて町に螢が来る夜かな 螢も小魚も、みんな私達と仲良くしだつた。早く戻つてよ、ふくよかな木屋瀬に。

柴田豊廣遺稿集より

「みんなで踊る(宿場まわりの)のキヤッチフレーズで恒例の『筑前木屋瀬宿場まつり』が、今年も11月3日(文化の日)執り行われます。その昔、長崎街道筑前六宿の宿

ご案内

みんなで踊る(宿場まわりの)のキヤッチフレーズで恒例の『筑前木屋瀬宿場まつり』が、今年も11月3日(文化の日)執り行われます。その昔、長崎街道筑前六宿の宿

十一月三日(文化の日)



国際児童年に寄せてその三

駅であった木屋瀬の「歴史と文化の薫るまちづくり」所謂「地域の活性化」の推進を趣旨とする「長崎街道黒崎・木屋瀬キャンペン事業」の一環として官民一体となって始



められたもので、今年で第11回を迎えます。

従いまして行事内容は、永い歴史に培われ受継がれてきた木屋瀬の歴史的文化財を活用することを当初より旨としている訳ですが、最近では、木屋瀬宿記念館の開館を始め町並み整備など公共事業の進展や、行事の主催・運営が地元諸団体の構成する実行委員会へと移行したこと因つて、より充実



した内容となっております。

併せ、郷土の伝承盆踊りである「福岡県無形民俗文化財指定・宿場踊り」を中心として筑前各地の伝承盆踊り振興の輪を広げる「祭典」を目指すと云う新たな方針も定着し、今後の発展が大いに期待される処です。

又昨年よりは、町内対抗の「玉入れ」や「スタンブラリー」なども加わり、地域全体の行事へと更に一歩進展した感もいたします。

つきましては、今年も開催趣旨を踏まえ、地域全体で「筑前木屋瀬宿場まつり」に取り組みを存ぞうございますので、ご理解・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

第11回筑前木屋瀬宿場まつり実行委員会  
企画委員長 柴田泰助

木屋瀬の本町六町に古くから伝えられてきた、庚申祭が九月一日当番町である、中町の町内会長の香月さんのお宅で各町内会長や町内の方達の御参集を仰ぎ神事として執り行なわれました。香月さん宅は街道に面し、店舗部分は土間で、上がりかまちがあり、中の間、座敷、中庭と続く典型的な木屋瀬の商家のつくりで、その中で木屋瀬に言い伝えられてきた、「話は庚申さんの晩に」のいわれの様に、当番町の方達の手作り料理に舌鼓しながら、夜遅くまで歓談して、平成十五年の木屋瀬の伝統文化である庚申祭が無事にお開きとなりました。

話は 庚申さんの晩に...



命が縮まってしまふ」と説いていきます。そこで、その災いを防ぐ方法として、三戸が体から出られないような寝ないで飲酒や飲食をして夜明けを待つという、庶民の信仰から始まったと言われています。昔の一種のレクレーションであり情報交換の場であつたといえるでしょう。この祭りは各地にもありましたが、テレビの普及と共に急速になくなり、現在では全国的にも珍しい行事となりました。庚申祭も木屋瀬の貴重な文化といえるでしょう。

木屋瀬で見つけた身代わり猿 庚申とは、(かのえさる)という十十二支の組合せの一つで、六

こやのせ たなばた ま☆つ☆り



八月七日、あいにくの雨模様にもかかわらず、多くの人が集まりました。木屋瀬宿記念館で初の試みとして開催した「こやのせ たなばた ま☆つ☆り」は、午後五時三十分頃より始まりました。みんなで思い思いの願い事を短冊に書いて、竹笹に飾り、こやのせ座前の広場に取り付けました。



こやのせ座正面のたなばた飾り

クラブによる「おはなしコンサート」があり、紙芝居や手話ソングなどを楽しみました。

最後に、雨のため屋外での天体観測はできませんでしたが、前日に撮影した月をこやのせ座で映写しました。長野誠一さんに解説していただきながら、みんなでクレターのはつきり見える大きな月をみて、たなばた

の夜を過ごしました。こどもたちから感想を寄せてもらいましたので紹介します。

★わたしは、はらぺこあおむしがとてもおもしろかったと思いましたが、はらぺこあおむしはくらくらなつてふにやふにやのおおむしがおもしろかったです。私は「にやーご」というお話がとてもおもしろいと思いました。「にやーご」に「にやーご」と言ったのがおもしろか

★わたしは、はらぺこあおむしがとてもおもしろかったと思いましたが、はらぺこあおむしはくらくらなつてふにやふにやのおおむしがおもしろかったです。私は「にやーご」というお話がとてもおもしろいと思いました。「にやーご」に「にやーご」と言ったのがおもしろか

★ハラペコあおむしの本は小さいころから、すきだったものでとてもたのしみにしていました。さなぎからちようちよにかわったとき、とてもはくちよくがありました。

山本みほちゃん

★本を読んでくれたり、大きなかみしばいを読んだりしてくれました。一番楽しかったのはブラックシアターです。はらぺこあおむしでした。また、ひよこのコンサートがあったら行きたいです。ブラックシアターは、うしろから光をあててする、げきでした。はらぺこ青虫のブラックシアターの中で歌もちよつとありました。

倉田はるかちゃん

★天気かわるくて外で見られなくてさんねんだったけど写真で見た月は、はくちよくがありました。

山本ゆうきくん

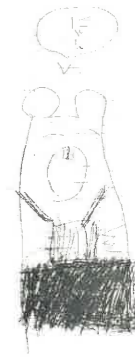
★ビヨコクラブ&ボランテニアさんへ

「地雷ではなく花をください」をもう一回聞かせて下さい。こんどは3年生むけの本も読んでください。かきこおひらがとうございまして。おいしかったです。

中川志穂ちゃん



庚申さんの身代わり猿



山本みほちゃん

ちくぜんこやのせ 盆踊り

感動!! 親がわが子に、手とり足とり、踊りを伝授!!

八月十三日より十五日までの三日間、木屋瀬の盆踊り「通称宿場踊り」が行なわれた。十三日の午後七時より、長崎街道木屋瀬宿記念館内の広場に於いて、最初の踊りを行なう。尚その時に、北九州ケーブルテレビ及び福岡のFBSテレビ局の二社も来て、取材等撮影していました。私は地舞台(囃子方)で唄いながら踊りをみておりましたところが、なんと親が我が子の手足を取り教えながら一生懸命踊っている姿が、私の目に焼き付きました。

昔を思えば私もそうであつた事気が付いた。記念館内広場の総踊りを終了後に、新町五町、本町六町の盆灯籠会が、それぞれに別れて各町内の初盆盆へ流れて行った。盆踊りとは「供養のための踊り」である。町内の皆様方も全員踊って頂くよう願っております。

本松達也(盆灯籠会)

大人も子供も揃って盆踊り(記念館広場)



大人も子供も揃って盆踊り(記念館広場)